



障害者の方のための パソコン講座開催

これまで本紙でもたびたび紹介されましたが、障害者の方を対象としたパソコン講座がはじまりました。(写真右)

この講座は、財団法人三重ボランティア基金(野呂昭彦理事長)から助成金の交付を受けて、CTF松阪が主催して行っているもので、7月4日と7月25日にはパソコン入門コースが開講し、受講者の方々はそれぞれ4日間熱心に受講されました。

今回開催する講座は、パソコンの基礎からワードとエクセル入門、さらにはワードの応用操作までを、系統立てて習得していただけるよう計画して、解りやすく和やかな進行をモットーにスタッフ一同頑張っております。

講座日程など講座概要は次のとおりですが、8月

29日以降の各コースの受講者を募集しております。ご希望の方は事務局までお問い合わせください。



これからの開催日:	ワード・エクセル入門コース	8月8日、9日、22日、23日
	ワード・エクセル入門コース	8月29日、30日、9月5日、6日
	ワード応用コース	9月12日、13日、26日、27日

開催時刻: 各コースとも午前9時30分から12時まで

会場: 松阪市障害者福祉センター(松阪市殿町1563番地)

定員: 各コース5名

費用: テキスト代2000円程度

受講資格: 松阪市内にお住まいの障害者の方で、会場までの往復が可能な方

ワード・エクセル入門コースは、パソコン入門コースを修了された方、またはそれと同等の知識・技能をお持ちの方

ワード応用コースは、ワード・エクセル入門コースを修了された方、またはそれと同等の知識・技能をお持ちの方



青空いっばに広がる入道雲とともに今年も雷の季節がやってきました。もう雷対策はお済ですか。去年はモデムは助かったもののLANカードが雷の被害に会い、ネットに接続できなくなりました。こんな経験ありませんか。大切なパソコンやネットワーク機器を雷の被害から守るためにも雷対策をお勧めします。雷の被害は遭ってからでは遅いので、保険だと思って保護機器などを設置しておいてはいかがでしょうか。いちいちコンセントやケーブル類を抜き差しするのは大変ですからね。

(by . UP)



インターネットってなに？

今これを読んでおられる皆さんの中でインターネットを知らないと言われる方はいないと思いますが、改めて「インターネットってなんですか？」と聞かれたらどう答えられますか？

英語の inter とは中間とか間、相互といった意味を持ちますからインターネットとは「ネットワークとネットワークをつなぐもの」という意味になります。

日本語の「インターネット」はもう少し限定的で、I P (注1) という約束に従って接続された世界規模のコンピュータネットワークを意味します。

もともとインターネットは学術研究用として開発されたものなので下記のような6つのサービスを行なっていました。

- 1、リモートログイン
- 2、電子メール
- 3、電子ニュース
- 4、ファイル転送
- 5、情報提供サービス (WWWサーバー)
- 6、情報検索サービス

が、1990年代に入り商用プロバイダ(注2)が登場し始めると一般の利用者も簡単にインターネットに接続できるようになり、情報提供サービスと電子メールがインターネットであるかのよな錯覚を招いています。

余談ですが、現在のML・掲示板の原型に当たるのが電子ニュースで最盛期には15,000からのグループがありました。その名残がOEにもあります。

Outlook Express を立ち上げて「ツール」「オプション」「読み取り」タブをクリックすると「ニュース」欄が、また「送信」タブをクリックすると「ニュース送信の形式」という項目がありますね。これが電子ニュースを購読するための設定です。



注1 I P (Internet Protocol) : インターネットを使うために定められた共通のルールのこと
で詳しくはプロトコルの所で説明します。

注2 商用プロバイダ : インターネット接続業者 (ISP) のこと。ちなみに日本では1992年に
設立されたインターネットイニシアティブ (IIJ) が日本で最初のインターネットサービス
プロバイダです。

(O I)

以下次号



活動報告

【7月】

障害者の方のためのパソコン講座

パソコン入門コース

4日、5日、11日、12日

各9:30~12:00

松阪市障害者福祉センターにて

パソコン入門コース

25日、26日、8月1日、2日

各9:30~12:00

松阪市障害者福祉センターにて

障害者対象個人向けパソコン講座

19日

9:30~11:30

松阪市障害者福祉センターにて

立秋・処暑

8月7日は立秋、23日は処暑です。

これらは二十四節気の名前で、立秋は、「秋のはじまり」の時期で、この日以後の暑さは残暑と呼ばれます。

処暑は、「暑さの収まる」時期と言われています。



活動予定

【8月】

障害者の方のためのパソコン講座

ワード・エクセル入門コース

8月8日、9日、22日、23日

各9:30~12:00

松阪市障害者福祉センターにて

ワード・エクセル入門コース

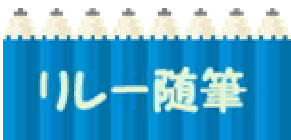
8月29日、30日、9月5日、6日

各9:30~12:00

松阪市障害者福祉センターにて



CTF松阪 役員一同



今月は、副会長岡野様からお引越してお忙しいご投稿をいただきました。皆様方も日頃お考えの事を600文字ぐらいにまとめてご投稿ください。お待ちしております。

27

バリアフリー的住宅建設顛末記(1)

この年齢になって家を建てることになるとは、思ってもいなかった。

発端は、松阪市が実施する「木造住宅耐震診断」を受診したことから始まった。我が家は昭和46年建設の木造住宅、柱と壁の間に隙間があり、柱も傾き、床も水平でないところがある。常用薬の錠剤を落とすと、決まってあるところへ転がるのであちこち探さなくてもよい構造となっている。

東海地震、東南海地震と騒がれてきて、松阪市でも無料で耐震診断をしてくれるというので、診てもらったのである。2人の診断者が来てくれて、床下や天井裏までも入って調査してくれた。

その結果は、総合評点0.41。この数値は、ひと言でいえば、『大地震で倒壊または大破壊の危険があるので、建て替えまたは補強が必要』との判定であった。どうすべきか・・・

家なんてものは滅多に潰れることはないのではないかとも思い、迷っているところへ深夜の震度5弱の地震。これはいよいよ腹をくらねばと、知り合いの建設会社に相談。

耐震補強工事は、これまでの基礎の外側に新しく基礎を作ることと、柱と柱の間に合板を貼って壁を強くすること、屋根瓦を軽いスレート瓦に換えること、さらに加えて傾いている我が家の場合は「つかい棒」が必要とのこと。

これらの工事『やってやれないことはない』が、文化財でもない我が家の場合、あえて昔の姿にこだわる必要もないと、清水の舞台から飛び降りることとした。

昭和58年に増築した部分は残すことにして設計図も完成、年が明けたらその補強・改造工事に着手しようと、いい初夢も見てのんびりと年末年始を過ごした。年明け草々に思わぬ展開が待っていることも知らずに・・・

続く



編集後記

庭の草花も、水をまかないとしおれてしまいます。私達の体も水分補給をしないと、大変なことになります。ただし、冷たいものの一気飲みはやめましょうね。



CTF 通信第29号

2005年(平成17年)8月発行
発行者 ITを活用した障害者支援NPO法人
CTF 松阪
発行責任者 川口保美
住所 〒515-0081 松阪市本町2181-1
電話 0598-21-7268
URL <http://www.geocities.jp/sanguudo/ctf/>